

## 平成24年度に建設工事で発生した事故事例（転落・墜落事故）

### 事故概要：

橋脚の耐震補強工事において主鉄筋の定着作業中、作業員が地上高さ3.6mの足場上を移動するため、1丁掛の安全帯フックを外し移動したところ、足場板を踏み外し地上まで転落した。

### 事故原因：

- ・作業員の安全帯使用方法の不備
- ・足場板と躯体の隙間の間詰め不足

### 改善対策：

- ・安全帯を2丁掛けとする
- ・隙間に足場板の追加、幅木を設置する



分類：足場工、移動中

被害状況：(右橈骨遠位端骨折)

## 令和4年度に建設工事で発生した事故事例（転倒事故）

### 【事故概要】

当日の作業を終え現場事務所に戻るために昇降足場から最後の段を降りた際、養生シートに隠れた庭石を踏み外し、右足首を捻挫した。

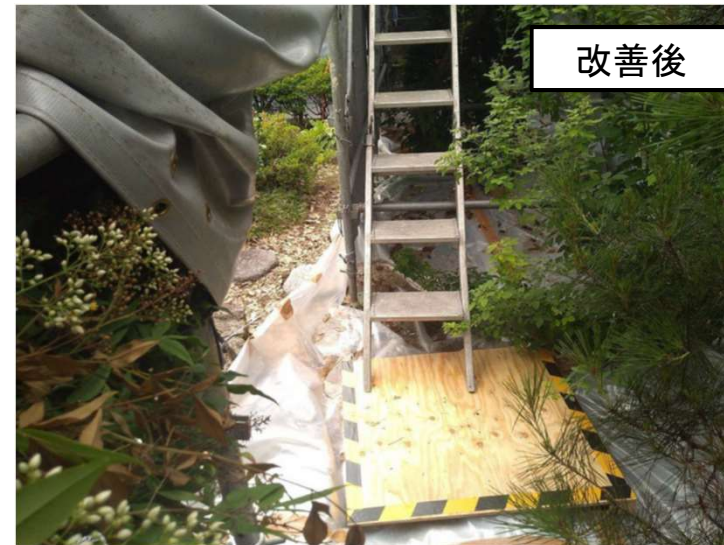
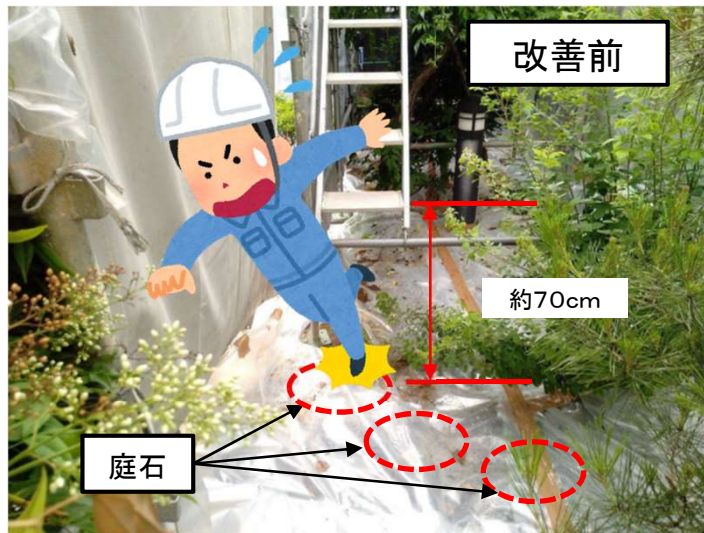
### 【事故原因】

- ・昇降足場が地面まで延伸しておらず、踏面最下段から地表面まで約70cm離れており、安全に昇降できるとはいえない状況であったこと。
- ・作業現場の危険個所の把握がなされていないこと。
- ・KYミーティングにおいて、危険のポイント及び対策が「足場からの転倒」、「足元注意」とされているが、具体的な記載内容となっていないこと。

### 【改善対策】

- ・KYミーティングの際は、事前に作業現場の確認を行うなど、全ての作業内容を想定しながら起こりうる災害をより細かく確認するとともに、作業者全員に確実に安全事項を周知伝達する。
- ・場内巡視にあたっては、漫然とこれを行うのではなく、危険個所、不安全行動がないかを厳しく見定める。
- ・危険箇所、不安全行動を視認した場合には直ちに作業を中止させ、不安全箇所の改善若しくは作業内容の見直し或いはその両方を行い、安全が確認されるまで再開させない。
- ・昇降足場を地面まで延長する、地表面を平坦にするなど、養生にて不可視となっても安全に通行できる対策を実施する。

### 事故現場状況



【分類】足場工 移動中

【被害状況】業者人身 29歳 右足関節捻挫